

## 令和元年度第1回 湖南省環境審議会 議事要旨

日 時	: 令和元年 5 月 20 日(月) 15:00～16:30
開催場所	: 湖南省共同福祉施設 1 階大会議室
出席委員	: 鈴木委員、野呂委員、藤井委員、池田委員、小西委員、足立委員、 吉川委員、高畑委員、上西委員、内林委員、北村委員 (11 名)
欠席委員	: 及川委員、相宗委員 (2 名)
事務局	: 谷畑市長、萩原総務部長、井上総務部次長、谷口生活環境課長、 安田主幹、伊藤主査、渡辺専門員 (生活環境課) (7 名)

### 1. 開会 (司会：総務部生活環境課長)

あいさつ

- ・ 市長あいさつ
- ・ 委員紹介
- ・ 事務局紹介

### 2. 会長、副会長の選出

会長 鈴木一実委員・副会長 野呂委員 を選出  
鈴木会長挨拶

### 3. 議事 (議長：鈴木会長)

「湖南省環境審議会規則第3条2項に基づき本日の出席委員は13名の内出席は11名であり過半数以上の出席があり本日の審議会が成立している」旨を事務局から報告。  
湖南省環境審議会規則第3条に基づき会長が議長となり、議題の審議に移る。

#### (1) 審議事項

事務局より資料1 第二次湖南省環境基本計画(案)について説明した。

審議会委員意見	事務局
<p>会長：スケジュールの説明をお願いしたい。</p>          <p>会長：今日の第1回目の環境審議会で、いろ</p>	<p>A3の資料にスケジュールが載っている。今回は今年度に入って第1回目の審議会であり、先月に環境基本計画の計画調整委員会を開催した。その後、庁内会議として総合政策会議、6月末に湖南省議会全員協議会にてそれぞれ説明を予定している。その後パブリックコメントを7月に実施を考えている。8月に第2回湖南省環境審議会にて最終案の説明をし、湖南省議会9月定例会に上程を予定している。</p>

いろいろ意見を出していただきたいが、ここでまとめた上で、関係部局との調整、その後にパブコメ実施となる。それを受けて8月の議会ということで。章ごとにご意見をいただきたい。第1章が1ページから5ページまでとなる。これの修正内容について、先ほど若干の説明があったが、前回、前々回で出された意見を受け、修正がされている。さらにご指摘があれば、よろしくお願ひしたい。

委員：この1ページだけではないが、「低炭素」を使うか、「脱炭素」を使うかということが、前回議論になったが、「低炭素」でこの案は統一するのか。市長のごあいさつにもあったが、「地域循環共生圏」という言葉が出てきて、このトピックにも「地域循環共生圏ってなに？」があるが、基本事項の最後に「持続可能な社会の実現を」だけでなく「地域循環共生圏を」も追加しては、と前回申し上げたつもりでいた。また、全体を通して、元号と西暦がものすごくわかりにくい。例えば3ページの年度は全部西暦になっており、非常にわかりやすくなっている。もし和暦を使う場合、西暦を前にして、括弧書きで令和を使うのは可能か。

鈴木会長：事務局。

委員：直ぐにではなくても大丈夫だ。これからやっていく中でお願ひしたい。

会長：今のご指摘は、第1章にキーワードが入った方がいいということだ。「脱炭素」は後のほうに入っている。

委員：「脱」ではなく「低」にするのか。

会長：第1章は「低」で統一したという説明でよいか。

西暦問題については、検討している。市としての表し方もあるから、全て西暦にしていくかは確認したい。あと、「脱炭素」か「低炭素」かということであるが、「低炭素」で統一する。「持続可能な社会」のところに「地域循環共生圏」という言葉を入れることで対応する。

委員：県の文書には「脱炭素」がたくさん出てくる。最後は市長の判断です。「低炭素」で行くのなら、「低炭素」で、今回の案は特に申し上げない。

会長：私も全部見たが、11 ページの基本目標 4 の大きなタイトルは確かに「低炭素・資源循環環境」だが、説明の最後には前回指摘を受けて「脱炭素社会の構築を目指します」という文章が入っている。あとは市長がさらに踏み込んで、1 章あたりに入れるかどうかの判断とする。

委員：2 ページで、滋賀県の関連計画を挙げている。第四次滋賀県環境総合計画があるが、この3月に第五次滋賀県環境総合計画になったので、更新してほしい。SDGsなどの、流れとしては共通であり、それを踏まえた形は適切だと思う。

会長：第2章は6 ページから12 ページまでである。意見や質問等があればお願いしたい。計画(案)中、写真のところは空白になっているが、鋭意準備中ということによいか。

委員：2章の12 ページ、横長の資料「温暖化対策の推進」のところで、以前は修正内容のところに書かれていたが、今回は施策の中に「(緩)」の説明が「緩和策の推進」とある。一つは緩和策と適応策という大きな流れだ。⑤に「適応策の推進」とある。この辺の書きぶりについてはこれまでの経緯があつてのことかと思うが、言葉の意味が分かりにくいので、用語解説をつけていただきたい。最初に出てきたときに分かりにくい言葉が、他の章にも少しあつた。

会長：施策の一番右に「(緩)とは緩和策の推進だ」と書いてある。前回は「施策の方向性」、一番左の見出しの9番の下に書いてあつたが、場所が不適切であるという指摘があり、ずらした。

「低炭素」の方で統一する。

準備中である。

委員：①、②、③、④は緩和策、⑤番は適応策なので、つけるなら、適応策も「(適)」があると並び的には分かりやすいと思う。

会長：それはここで初めて出てきても、今の⑤の後に「(適)」と書いてあったら分かるという理解でよいか。

委員：逆に「(緩)」と書いてあるのが分かりにくいと思う。緩和策はこの3つが具体的なものではなく、例えば緩和策として、こういうものがあることをここで論議したが、緩和策にとどまらず適応策も必要だろうということで適応策が入ったので、全部の前に「(緩)」が入り、「(緩)」の説明があることが分かりにくくしている原因ではないかと思う。例で緩和策と適応策の両方あることをここで示せばいい、という議論だったと思う。緩和策だけにとどまっていた。

会長：確かに本文の30ページには書いてあるが、12ページで初めて出てくるので、改めてもらえればと思う。

会長：第2章についてはよいだろうか。第3章が13ページから34ページまで、環境未来像の実現に向けた説明ということで、基本目標の1, 2, 3, 4, 5をあらためてスペースを割いて詳しく説明をする。さらにここで、それぞれの基本目標に関する指標が挙がっている。

文言がおかしいところだけ申し上げていいか。15ページのSDGsの3番の説明で「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保に向けて」、これは元がこのようになっている

資料の30ページに施策の体系の細かな説明が載っている。ここに9番「地球温暖化対策の推進」ということで「緩和策の推進」と「適応策の推進」という分け方をしている。ここを今まで言っていた議論があり、検討し、前に「(緩)」を付けて、9番の枠の中に「(緩)緩和策の推進」という書き方にした。

もう一度、検討したい。

る。ここは「生活の」などにしないと日本語になっていないので直してほしい。

もう1箇所。35ページの課題だが、整理をすると3つある。最後の2行目の「また」のところは段を切り替え、3つとして整理してほしい。ポツがあって、「また」で始まるのはおかしい。「また」は取った方がいいと思う。委員：23ページの「公害のないまちづくりの推進」の「事業者の具体的な取組」の欄の一番下のところで「市と環境保全協定と締結し」とある。「環境保全協定を」に訂正してください。

30ページから33ページにある3Rについて、例えば31ページに「3Rの推進」というのが一番上にあるが、次のページに同じように3Rがあって、ここで初めて「排出削減(リデュース)、リユース、リサイクル」の説明が入っている。先にあるページに記入するなどでわかりやすく表現してほしい。

そのような方法で考えると、例えば30ページに「ESCO事業」や「COOL CHOICE」の言葉が出てくるが、わかりにくい言葉だと思う。特に32ページの「HEMS」に関して、このページより後に詳しく読み方を説明されているページが出てくる。32ページが最初であり、順番に読んでいくと、私は読みにくいと思った。同じように、「HEMS」や「BEMS」などが出てくるが、後段でその解説を書かれているところがある。最初に出てくる場所で、文言が分かりにくいものには後段で補足説明しているので、その説明につながるよう何か対応してほしい。

会長：「3R」は11ページに最初に載っている。もっと前にあるならば、そこに入れるべきだ。

委員：3月に県が作成した環境総合計画の書き方を見た。例えばSDGsであれば、最初に「持続可能な開発目標(SDGs)」と書いてある。順番に読むと、いろいろなところに

そのような書き方がされている。

会長：事務局で、見直していただきたい。初めて出てきたときに、説明等を入れてほしい。

「SDGs」が一番初めて出てくるのは6ページだ。6ページに「持続可能な開発目標に対応」ということで、「持続可能な開発目標（SDGs）として」と、はっきりと書いてある。そのような感じにしてほしい。

委員：全部初めて出るところに説明がないと分かりにくい。

会長：第4章。38ページから53ページまでが「重点プロジェクト」となっている。3つの重点プロジェクトのイメージと説明がある。意見、質疑があればお願いしたい。48ページの右、「事業者の具体的な取組」の2つ目の中ポツの文章が、語句と文章が一緒になっているので少し読みにくいと思う。「協力する」がどこに係っているのか、よくわからない。「電力利用に協力しましょう」と読むのか。これは前回意見が出て「こなんウルトラパワー株式会社の電力利用」を後に入れることになっていたと思う。前は入っていない。入っていない方が文章はすっと読める。

委員：この重点プロジェクトに追加する必要なことではない項目だが、気付きというところになる。47ページの「再生可能エネルギーの普及を促進します」というところの市の取組について、再生可能エネルギーの普及をするに当たっては、例えば太陽光発電でも、それが風力発電であっても同じだが、発電そのもので使用するエネルギーは当然、地球温暖化対策としてはよくても、その装置をつくる

見直しし、分かりやすい表現に改める。

ご指摘のあった、どちらに係っているのかということだが、「こなんウルトラパワー株式会社の電力利用」と「小規模分散型市民共同発電所設置の際の出資」の両方に協力しようということで文章は考えて作成した。分かりやすい文章に改めさせていただく。

にはエネルギーをかなり使っているから、全体が地球温暖化に対していい方向だという根拠を客観的に持つておく必要があると思う。それは市としては整理しておいてほしいところだ。特にこれは文の中に入れる必要もないことだと思うが、しておいてほしいと思う。特に観光に利用するという話もあり、いろいろな意見や質問も出てくると思うので、お願いしたいと思う。

会長：一応、市としても、事務局としても整理してほしいという要望だ。この中に盛り込む必要はないということだが、大事なことだ。

委員：47 ページについてだが。これは「再生可能エネルギーの普及を促進する」、「BDF を精製し、農業施設などで」という文言があるが、どういう方法で、進めているのか。

会長：農業施設での利用の現状のことか。

委員：まだできていない。これから目指す方向性だ。

もう一つは、トピックスと本編の色が同じで分かりにくいと思う。トピックスはトピックスで分かるような全く違う色の見せ方や囲いをしたほうが良いと思う。本トピックスを入れるのは大変いいことだと思うが、見せ方の工夫は要と思う。

会長：例えば第3章に基本目標1, 2, 3, 4, 5があって、これは基本目標ごとに色を全部変えて、それぞれの課題も全部、同じ色にしてある。それは見やすいが、トピックスも同じ色になっていて分かりにくい。

委員：他も全部そうだ。

会長：トピックスは統一したときに一番インパクトのある、一番見やすい色にアレンジしていただくということによいか。

会長：重点プロジェクトは3つある。ご意見があれば、最後に全体を通したときをお願いしたい。最後の第5章は「計画の推進」ということで、54 ページから 57 ページの「指標

色を見やすいように検討する。

一覧」となっている。語句の説明はどこになるのか。

会長：57 ページの後ろに資料一覧、用語集や付属の資料が盛り込まれるということだろうか。

会長：「計画の推進」で意見があればお願いしたい。55 ページがとても余っていてもったいないと思う。

委員：54 ページの「計画の推進体制」の一番右側に「湖南省環境基本計画調整委員会」とあり、事務局が生活環境課となっている。前回も伺ったが、この調整委員会は市の全部局が入っていると理解している。でも、市民が湖南省環境基本計画調整委員会と見たときに、こういう委員会があると思ってしまうので、ここは湖南省のこういう委員会ですという、普通の市民の会や委員会ではなくて、これは庁内の委員会だということを、分かりやすく示していただけるとありがたい。

鈴木会長：その点も事務局の方で検討いただきたい。

委員：56 ページ下の「結果の公表」のところに「湖南省環境ネットワーク」が残っている。

会長：確認だが「各課等意見対応」で○が付いている意見についてはもう盛り込まれているということか。

会長：A3の資料はうまくまとまっているが、今後どう使われるのか。

用語集や資料編などは本編の後ろの方に最終的に、付けて完成する。

はい。

消し忘れのため削除する。

各課からの意見を先週末、集めたところで、まだ対応はしていない。○のものについて本編に反映させる。×のものについては今、検討している。委員の皆さまにも一緒に考えていただけたらと思っている。文書をまた郵送でお送りさせていただき、ご意見を頂けたらと思っている。



委員：概要版という意味ではないのか。

委員：概要版はつくるのか。

会長：概要版の議論に移してもよいか。前回の概要版のようなスタイルにそろえるのであれば、比較的、容易なのかもしれないが、新しい見方を入れるとなれば、なかなか作業も大変だと思う。10年に1度作るのだから、意見があればお願いしたい。

委員：この概要版は使いやすかったのか、アピールしやすかったのか、逆にこれだけでは伝えにくかったのか、どうだったのか。その経験がとても大事だと思うが、そういうことも活かしながら、次の概要版のイメージができればよいと思う。どんなところでどう使うかということにも関わってくるが、地元での使い方、市民にこれが伝わらないと、いくら立派なものができてもどうかと思う。もちろん事業者も含めてである。企業の皆さん、地元の方、農業者の方、市民の方、関係者の皆さんが出ていらっしゃるので、どうだったのか、ということが分かってよいと思う。

委員：本編の方を読むこともあまりなかった、概要版も、会合の中で「こういうのが出たよ」ぐらいでしかなかった。

委員：使っていないのか。

こちらは説明資料として、いろいろな場で使わせていただいているが、ホームページ等で載せようとは思っていない。説明用の資料として使っている。

概要版の位置づけではない。

概要版のことも相談させていただきたい。今、お手元に現計画の概要版を配っているが、カラー刷りでA4、8ページを予定している。内容が、今回は本編の計画をまとめたものになっている。今回の場合も同じようなパターンにしたほうがよいか、もっと市民目線のもので、自分たちが何をしたらいいかが載っているものをつくれればよいかご審議いただけたらと思う。

委員：はい。だから、今、出たような、市民がどう環境づくりに関われるかという目印になるものが概要版の中に入れていいなと思っていた。

会長：最終的に公開する時は、ホームページか何かで全部見られるのか。

会長：概要版がホームページで見られる。あとは個別に配布されるということか。

それがどういうふうに使われるかというのは大事な視点になる。

委員：実は夕べ、家の中で高校1年になった娘と廃食油の処理のことについて話になった。これはどうやって処理するのかという話になって「絶対に流しちゃ駄目だからね。固めるか、今、湖南省では廃食油回収があるから、それに持っていくんだよ」と言ったら「何でなの？」と聞かれた。15歳の娘にとって、なかなか環境というのは身近ではないということを感じ取り、母親なりに説明した。だから、そういうときに市民目線で中高生でも分かるような、環境にやさしい生き方といったパンフレットであれば示しやすいと思った。

委員：若者に読んでほしい。特に高校生には本当に読んでもらいたい。

会長：50ページの重点プロジェクト3番の方針3に「学校などと連携した環境学習やインターンシップなどを推進します」ということが書かれているが、この肉付けみたいなものが何か具体的なことは何か示して欲しい。もしそれがこういった概要版でよりいっそう分かるとういと思う。

委員：企業の皆さんもこの概要版をお使いになっているのか。

委員：私は、そのパンフレットはこの審議会ですべて初めて知った。使っていない。

委員：どうしたら知ってもらえるのか。

委員：工業団地の事務局に置いてある。周知

本編と概要版として考えたい。

ホームページで見ることができる。

の一つだと思う。

会長：他にはないか。この概要版のタイムリミットはもう少しあるのか。この本編と同じくらいのタイミングなのか。まだ本編案ができていない。要するに順番としては、本編が確定した後にやるということでもいいか。

会長：概要版をつくるところで盛り込み方に関して意見があれば、お願いしたい。出た意見については、事務局の方で反映していただきたい。今度の審議会は予定はいつか。

会長：2回目の時は概要版案もお願いしたい。

委員：概要版の使い方や目的についてだが、環境基本計画自体が、これだけの分厚さがあるので、それを簡単にしたものが概要版だと思うのだが、例えば高校生の子どもたちに使いやすいかという、それはまた目的が違うので、分かりにくいと思う。

思いつきで申し訳ないのだが、市役所にはJK課がある。地域創生のまちづくりの中で、女子高生の方々に何か考えていただくチームもお持ちのようなので、伝わりやすい方法は何かというアイデアをもらってはどうか。二次では、一次から10年が経過して「このように新しい計画をつくりました」という説明の導入があり、計画の説明がくる。若い学生たちに説明するときにはトピックスのようなものが欲しい。内容を少し工夫してメリハリを付けてみてはどうか。例えば、滋賀県の環境総合計画の概要版を見ると、「うおーたん」といったキャラクターが出てくる。湖南市では「こにゃん」などのキャラクターがいる。Vチューバーもいる。若い世代にはそういうところから目をひいて読んでもらう、見ってもらうところにきっかけがあると非常に展開しやすいのではないかと。特に「SNSを使

本編は9月までにと思っているが、概要版はその後と考えている。第2回目の審議会で、再度、審議をお願いする予定としている。

8月上旬でお願いしたいと考えている。

う」とも書いてあったので、書籍だけに限らず、いわゆる電子媒体での資料を見せていくという形の検討はどうだろうか。

副会長：こういった基本的な考え方、在り方だが、いろいろな問題がきちんと整理されている。市民が参加するときどの様な形で参加したらいいのか。環境問題にしても省エネルギーでは具体的には、このような参加の仕方がある、ということを書いておくと分かりやすいのではないかと思う。共生の場合でも、自然との触れ合う機会の創出が特に大切だが、どういう形で自然環境の中に参加していく方法があるのか、それを具体的にしてもらおうと非常に分かりやすい。そういう工夫をしていただいたらどうだろう。

会長：他に概要版の方向性や計画をもう一度見直す。

委員：「ツーリズム」という言葉が重点3のプロジェクトのところに出てくるが、用語の関係で「ツーリズム」はあまりなじみがない言葉だったので説明がどこにしているかと探していたら、52ページにあるが、最初に出てくるのは26ページに出てくる。「ツーリズム」をトピックスで説明しているのなら、近い26ページで説明するか、用語集のほうに入れるか、少し工夫をしていただきたいと思う。

会長：いろいろ意見も出していただいたので、ひとまずこれでまとめさせていただく。あらためて次の予定の説明をお願いしたい。

十分、検討する。

最初の意見で説明があった方がいいということだが、途中から読まれる方や、最初から読まれる方もいると考え、後ろに用語集があるほうが良いということを皆様にわかっていただけたらと考えているが、検討させていただく。

頂いた意見は事務局で検討後、反映を進めさせていただく。最終的に課からも出ている意見も反映し、皆様に確認していただいた上で、7月

<p>会長：次回の会議は、8月でいいか。</p> <p>会長：第2回目は8月でお願いしたい。</p> <p>会長：議事としては、今日、予定していた内容は以上となる。</p>	<p>のパブコメにかける予定だ。その前にもう一度ということで、皆さまの方に送付し、意見を頂こうと考えている。月末にお送りさせていただき、月初めにはご意見を頂く形で考えている。</p> <p>8月中旬ぐらいを予定している。パブコメも終了した時点で、最終案ということで、確認をお願いしたい。</p> <p>今回の資料に、前回の審議会にご出席いただいた方には会議の概要と、意見を頂く用紙を入れている。ご意見があれば、書いていただくか、事務局の方に直接、伝えていただき、最終的にまとめホームページに会議録として掲載するのでご了承いただきたい。</p> <p>意見を反映させていただき、計画案の作成を進めさせていただく。</p>
--	---

3. 閉会

野呂副会長あいさつ